### 政治権力と政治体制

権力構造のあり方

#### メニュー

- ・ 権力構造の見方
  - 一元的支配と多元主義(『政治学』23章3)
- 一元的支配論・陰謀論の問題点
  - 反証可能性(『原因を推論する』2章)
- 多元主義をもたらすメカニズム
  - マスメディアの役割(『政治学』21章2・『はじめて 出会う政治学』6章・谷口将紀『政治とマスメディ ア』東大出版会))

## わせポチ

- この世界を支配する少数の有力者がいると 思いますか。
  - 1 いると思う
  - -2 どちらかというといると思う
  - -3 どちらかというといないと思う
  - -4 いないと思う

## 陰謀史観

・身のまわりに不思議な出来事が起きる。もしかしたら、それは偶然ではなくて、何かの陰謀、〈彼ら〉の企みではないだろうか。このような考えを〈陰謀史観〉(コンスピラシー・セオリー)という。この、見えない〈彼ら〉は、神であるかもしれず、悪魔であるかもしれない。〈彼ら〉として、ユダヤ人、フリーメーソン、ナチ、共産主義者、さらには宇宙人までもが名指しされてきた。(海野弘『陰謀の世界史』8頁)

#### 誰が支配するのか?

- 権力構造
  - 支配するエリートとエリート主義
  - 一元的支配
  - 評判法
- ・コミュニティー権力構造論争
- ロバート・ダールによる批判
  - 争点ごとに異なる影響力構造
  - 多元主義

### 影響力を実証する

- ロバート・ダールの定義「さもなければBがな さなかったことをBになさしめる度合いに応じ てAはBに権力を持つ」
- ・ 行動を通して観察可能
- 影響力資源と影響力の違い
- ・影響力は関係的である
- · 明示的影響力

## 黙示的影響力

- ・ 経済界の特権的地位?
  - 金の卵を産むガチョウ
  - 構造的影響力
- ・目に見えないカ? 黙示的影響力
- ・非決定の問題
- ・ 個人の認識枠組み自体への影響
  - 政治学 5章3節

## 方法論的問題

- ・黙示的影響力を捉える方法は?
- ・ 観察可能な含意
  - もしAの支配が貨徹していれば観察できるはずの 現象を確認
- ・これが無ければ無限後退問題へ
- 何でも説明できる理論
  - フロイトの精神分析「イド」「超自我」「自我」
- 反証可能性と科学

#### 鉄の三角同盟と権力構造

- 鉄の三角同盟論と権力構造の見方
  - 政官業は政財官ではない
  - 政官業は多元的、エリート主義的見方ではない
  - -しかし非流動的=少数の優位
- では、変化をどう説明するか
- ・ 政治的企業家のちょっと異なる損得勘定
- マスメディアの役割

#### マスメディアの影響力

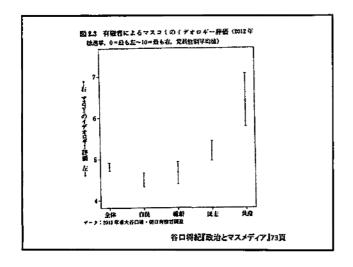
- 影響力認知:第4権力論
- ・マスメディアの登場と強力効果論
- 限定効果論
  - エリー調査(1940年 アメリカ)
  - コミュニケーションの2段階の流れ仮説
  - メディアの「改変」効果小さい

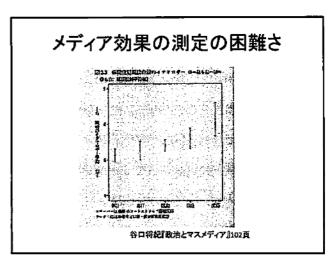
## マスメディアの影響力 再考

- テレビの登場と強力効果論の復活
- 議題設定
- ・プライミング 政治の判断基準提供
- ・フレーミング

## 日本におけるメディアのバイアス

- ・ テレビ・ラジオと放送法「政治的公平性」
- ・新聞における「客観報道」
- バイアスは存在するか
- ・有権者の受け止め方
- バイアスの効果





## マスメディアと多元的民主主義

- メディアの偏向?
- ・政治的中立性とバランス論
- 多元的民主主義との親和性
- ・弱者の声を増幅する傾向
- 視聴率競争と弱者代表

# マスメディアがもたらす政治の流動化

- ・ 多元的民主主義とマスメディア
- ・ 争点の拡大・参加者の拡大
- ・一元的支配への対抗と報道の自由
- ・少数の優位への対抗
  - -参考『はじめて出会う政治学』6章

## インターネットの影響

- ・メディアとしてのインターネット
- 旧来型メディアへの信頼性
- WEBサイト、ブログ、SNSの影響「反響室」
  - さらなる多元化・流動化?
  - 選択的接触と政治関心の低下?
  - 選択的接触と分極化?

